















思うまま、
気ままに、
ぶらり

山口市観光ガイドブック

山口市
YAMAGUCHI CITY

ぶらり山口

Bu-Ra-Li

Yamaguchi city
Guide Book



もくじ

Contents


ぶらり
大内文化と
明治維新探訪 ……3


ぶらり
湯田温泉へ行こう …7


ぶらり
SLやまぐち号
で行く ……11


ぶらり
歴史の道・萩往還…13


ぶらり山口の食 ….15


ぶらり山口の食
〈お土産篇〉……17


ぶらり
中部エリア ……19


ぶらり
南部エリア ……21


ぶらり
北部エリア ……23


山口
イベントカレンダー 25


山口観光
インフォメーション…27

山口ゆめ回廊
周遊マップ ……29

料金等については2022年6月時点のものです。





ぶらり山口

思うまま、気ままに、ぶらり

Bu-Ra-Li

Yamaguchi city Guide Book

歴史、文化、自然、温泉と、たくさんの魅力と出会いが待っている山口市。
大内文化の面影を感じながら散策する。歴史の道・萩往還を歩いてみる。
SLやまぐち号に会いに行く。のんびりと湯田温泉を楽しむ。
北は中国山地、南は瀬戸内海の、大自然を満喫してみる。
あなたが引き寄せられる場所を訪れたら、
思いっきり見て、感じて、体験してください。
あなたの思うまま、気ままに「ぶらり」と過ごす山口の旅へ。

ぶらり大内文化と明治維新探訪

室町時代、大内氏が京を模して築いた山口には、華やかな大内文化の面影を色濃く残す史跡が点在しています。また、幕末、長州藩主・毛利敬親は、藩庁を萩から山口に移しました。そのため、木戸孝允や西郷隆盛、坂本龍馬ら、多くの志士たちが山口に集まり、薩長同盟など天下の大事を語り合いました。山口市は、明治維新という歴史の転換期の中で「明治維新の策源地」となったのです。



関連スポットの紹介
維 維新マーク
大 大内マーク

大内文化とは

室町時代、山口を中心に栄えた大内文化。守護大名の24代大内弘世が京に憧れを抱き、山口の地で京に模した街づくりを始めたのをきっかけに、大内氏が滅亡するまでの約200年間、京や大陸の文化に刺激を受け独自の文化が生み出されました。
大内氏は、朝鮮王朝や明国との交易で手にした強大な経済力を背景に、水墨画家・雪舟をはじめ多くの文化人を招いて、文化の興隆に尽力しました。

大内弘世公之像

五重塔コース



香山公園前観光案内所で情報収集 00

町屋をイメージして作られた観光案内所。ベンチで五重塔を眺めながら、散策の計画を立ててみては？

営業時間／9時～18時
休業日／年中無休
TEL／083-934-6630



チョッと一服
散策の途中でひやしあめや甘酒、ソフトクリームなど、甘味を食べてひと休み。



ひやしあめ

徒歩1分 徒歩1分

枕流亭 維 02

幕末、薩摩藩の西郷隆盛や大久保利通、長州藩の木戸孝允らが倒幕の密議をした場所。元は一の坂川沿いにありましたが移築を繰り返し、昭和35年(1960年)にこの地に移されました。

露山堂 維 03

毛利敬親が藩庁を山口に移した際に、藩庁内に建てられた茶室。敬親が家来らと倒幕の密議を凝らした場とされています。明治24年(1891年)にこの地に移築されました。

香山維墓所 04 【国指定史跡】

長州藩毛利家の墓所。毛利敬親と夫人、跡継ぎの元徳など、計7基の墓があります。

うぐいす張りの石畳
通路に立ち、石段に向かって手を叩いてみましょう。どんな音が聞こえる？



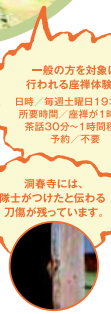
徒歩1分 徒歩3分

洞春寺観音堂 大 05 【重要文化財】

大内持盛の菩提寺である観音寺の仏殿として創建されたもので、永享2年(1430年)創建とされています。大正4年(1915年)に洞春寺境内に移建しました。

洞春寺座禅体験
一般の方を対象に行われる座禅体験も。
日時／毎週土曜日19:00～
所要時間／座禅が1時間、茶話30分～1時間程度
予約／不要

洞春寺には、隙士がつけたと伝わる刀傷が残っています。



洞春寺山門 大 06 【重要文化財】

洞春寺の場所には1400年頃、26代大内盛見が建立した国清寺がありましたが、山門はその創建当時のものとされています。全国的に貴重な松皮葺の四脚門が特徴。

井上馨の墓
洞春寺の本堂裏に井上馨の墓があります。維



徒歩2分

山口県政資料館 維 07 【重要文化財】

山口県政資料館(旧県庁舎)は大正5年(1916年)の完成。西洋の建築様式と和様式が融合した大正建築で、現在は山口県政に関する資料を展示しています。隣の旧県会議事堂も見学できます。

開館時間／9:00～16:30
休館日／月曜日・祝日(5/5、11/3は開館)・年末年始(12/28～1/4)
入館料／無料
TEL／083-933-2268

旧山口藩庁門 維 08

県指定重要文化財。

長州藩13代・毛利敬親が幕末の有事に備え、藩政の中心地を萩から山口へ移転。藩主住居の表門として石門が完成しましたが、第1次長州征討の際に破却されました。明治維新後、改めて建造された藩庁門が山口県庁に現存。



夜はライトアップ。

徒歩6分 徒歩1分

知事公舎跡地を通る遊歩道を進もう！竹林散策ゾーンやベンチのある広場があります。
(利用時間)
7:30～18:15





四季の五重塔

季節によって変化する風景をお楽しみください。

■春…桜・梅 ■夏…新緑 ■秋…紅葉 ■冬…雪景色


春


夏


秋


冬

瑠璃光寺五重塔 【国宝】 大 01

嘉吉2年(1442年)、26代・大内盛見が兄・義弘の供養塔として建立。上層ほど塔身が細くなるすらりとした立ち姿と、檜皮葺屋根の伸びやかな反りが美しく、日本三名塔の一つに数えられています。全国に数ある五重塔の中でも檜皮葺は4基のみで、三名塔では唯一の檜皮葺です。日没～22時までライトアップされます。







桧の皮で葺かれた檜皮葺の屋根を近くから見てみよう!
五重塔の裏にある遊歩道を2～3分ほど登って行くと、檜皮葺の屋根を近くから見ることができます。

司馬遼太郎文学碑
(長州は、いい塔をもっている)と憧れぼれするおもいであった。
小説家・司馬遼太郎が「街道をゆく」で五重塔を紹介した1文が刻まれています。



ボランティアガイド

五重塔を中心に香山公園一帯を無料で案内します。公園入口の東屋に待機しているガイドに声をかけてください。

案内時間
土曜日・日曜日・祝日9時～16時
(6～8月は17時まで)
年末年始
3月中旬～11月末
※12月～2月は日曜日・祝日のみガイド
※予約ガイドについては、市内ならいつでもどこでもガイドします(P27参照)

香山通りの石垣
かつて築山館周囲の土塁に使われていた石で造られています。



一の坂川・竪小路コース

（徒歩時間約41分）



山口市菜香亭 01 維

明治10年（1877年）に料亭として創業し、山口県出身の政治家や文人らが利用してきた「菜香亭」。平成8年に料亭としての幕を閉じましたが、文化交流施設として平成16年に移築復元されました。現在は、山口の観光拠点としても利用されています。

観覧時間／9:00～17:00
休館日／火曜日（祝日の場合は祝日でない翌日）・年末年始（12/29～1/3）
入館料／大人（高校生以上）100円、小人（小中学生）50円
駐車場／70台（無料）
TEL／083-934-3312

山口ふるさと伝承総合センター 09 大

古い造り酒屋を保存整備した「まなび館」では、市内の伝統工業品大内塗、山口萩焼、徳地和紙の作品を展示。隣接する「たくみ館」では、大内塗製作の見学や大内塗箸づくり体験ができます。「みやび館」は、明治24年（1891年）に建てられた民家・旧美祢邸を移築・再現したもので、自由に観覧できます。

開館時間／9:00～17:00
休館日／8/14～8/16・12/29～1/5
入館料／無料
TEL／083-928-3333

着物体験

大内文化の香りが残る山口を着物で散策しませんか？

実施時間／9時～15時
料金／2時間プラン 3000円
1日プラン 3800円
（6月1～9月は浴衣、1月1日3000円）
※着物・着付け小足袋・髪飾り 4000円
※着物を着ずに体験のみ 2時間未満 4000円
2時間以上（4800円）も有り
※甲冑体験（1時間4250円）
要問い合わせ
予約／前日12時までに要予約
お問い合わせ／山口市菜香亭 083-934-3312

レンタサイクルあります！

普通自転車／半日（4時間未満）300円 1日（4時間以上）500円
電動自転車／半日（4時間未満）400円 1日（4時間以上）600円
※普通自転車を借りられたお客様は山口ふるさと伝承総合センター、クリエイティブスペース赤れんがでも返却できます。

龍福寺 04 大

【重要文化財（本堂）】【国指定史跡（大内氏遺跡館跡）】

建永元年（1206年）、18代大内満盛が創建した臨済宗の寺。弘治3年（1557年）に現在の地に再建されました。本堂は室町時代の代表的な寺院建築として、国の重要文化財に指定されています。

平成23年に屋根が桟瓦葺から檜皮葺にリニューアル。美しい檜皮葺に注目。

大広間でお抹茶体験も楽しめる。

木戸孝允や佐藤栄作などの扁額を大広間に展示。

豊栄神社・野田神社 02 維

豊栄神社は、毛利輝元が萩に居城を移した際に、毛利元就を祀ったのを始まりとしています。明治に入って萩から山口に移されました。隣接する野田神社は毛利敬親を祭神としており、敬親の子・元徳を配祭神としています。

今八幡宮 03 大

【重要文化財】

文亀3年（1503年）、30代大内義興が建造したのが今の社殿と言われています。楼門、拝殿、本殿までを一直線上に連結させる構造で、山口地方に多く見られる様式。楼門、拝殿、本殿ともに国の重要文化財に指定されています。

やまぐち維新さんは

久坂玄瑞など志士の衣装のコスプレも楽しめます。（有料）

十朋亭には久坂玄瑞も滞在していました。

十朋亭維新館 06 維

維新志士ゆかりの資料の展示や、プロジェクションマッピングで山口市の幕末・明治維新について楽しく学べます。敷地内には市指定史跡「十朋亭」の他、「杉私塾」、「萬代家主屋」などの建物もあり、自由に見学できます。

開館時間／9:00～17:00
休館日／火曜日（祝日の場合は祝日でない翌日）・年末年始（12月29日～1月3日）
入館料／無料　※本館展示室のみ有料、大人（高校生以上）200円・小人（小中学生）100円
TEL／083-902-1688

大路ロビー 05

古い町屋を改修した休憩スポット。チョット聞きたい周辺の情報を提供しています。

営業時間／10:00～17:00
定休日／火曜日・盆・年末年始
TEL／083-920-9220

一の坂川 07

室町時代、京を模して作られた山口の街。一の坂川は、京都の鴨川に見立てられました。春には桜やツツジ、初夏にはゲンジボタルの名所となっています。

一の坂川のどこかに五重塔が見える橋があります。探してみよう!

竪小路 08

一の坂川・竪小路界隈を散策

古くからの町並みが残る竪小路は、萩往還として参勤交代の御成道にもなりました。
昔ながらの町屋を利用した個性的なショップやカフェも点在しているので、
のんびりと散策を楽しんではいかがですか。

周辺のお店マップは
大路ロビー　おさんぽMAP
で検索してみて下さい。

雲谷庵跡 12 大

【市指定史跡】

瑠璃光寺五重塔が見えます!

雪舟が明（中国）から帰国した後、創作活動を行ったといわれるアトリエをイメージする茅葺き建物があります。代表作「山水長巻」もここで描かれたといわれています。

錦の御旗製作所跡 11 維

1867年、討幕の勅命が下り、品川弥二郎は京都西陣で材料を購入し、藩の蔓蚕所の一室でひそかに御旗の製作にあたりました。ここで製作された錦の御旗が、鳥羽伏見の戦において官軍の陣頭に立てられました。

八坂神社 10 大

【重要文化財（本殿）】【国指定史跡（大内氏遺跡築山跡）】

八坂神社は、応安2年（1369年）、24代大内弘世が京都から勧請しました。永正17年（1520年）に30代大内義興が社殿を新築しましたが、現在の本殿はその当時のもの。本殿にある変化に富んだ13個の蟇股（かえるまた）は、室町時代の特色が出ています。

築山跡

八坂神社境内一帯には、28代大内教弘が築いた築山館がありました。
築山館の地は、教弘が亡くなった後は、教弘を鎮魂する場となりました。

大内塗箸づくり体験

山口の伝統工芸品・大内塗の体験ができます。漆と金箔でオリジナル模様の箸を作りません。

所要時間／30～60分
料金／800円（送料別途）
予約／事前予約必要（平日のみ）
お申し込み／山口ふるさと伝承総合センター 083-928-3333

「ひわだや」

県内唯一の檜皮葺師が代表を務める「ひわだや」がオープンした施設。
工場見学やワークラフト体験等でその魅力を間近で体感することができます。

大内氏館跡・庭園

龍福寺がある場所にはかつて大内氏の館があり、大内氏はここで政務をとりました。龍福寺周辺には、復元整備された枯山水庭園、西門、池泉庭園、土塁があり、当時の雰囲気を感じることができます。
高嶺城（こうのみねじょう）とともに続日本100名城に選ばれました。

山口市菜香亭まで 徒歩4分 / 徒歩7分 / 徒歩6分 / 徒歩3分 / 徒歩0分 / 徒歩2分 / 徒歩3分 / 徒歩0分 / 徒歩3分 / 徒歩10分 / 徒歩1分 / 徒歩2分

足をのばして。

常栄寺雪舟庭 大

【国指定史跡及び名勝】

山口市菜香亭から車で5分



約500年前、29代大内政弘が雪舟に築庭させたものと伝えられています。東・西・北の三方を林に囲まれた庭で、北側に滝、中央に池を設け、周囲には庭石を配置しています。雪舟の山水画そのままの名園として知られています。

拝観時間／
4～10月・8時～17時
11～3月・8時～17時30分
拝観休館日／年中無休
拝観料／大人300円・中高生200円・小学生以下無料（身体障害者の方は半額）
TEL／083-922-2272

MAP・P19

山口サビエル記念聖堂



山口市菜香亭から車で5分

ザビエルが山口を訪れてから400年を記念して建てられました。当初の聖堂は平成3年に焼失しましたが、平成10年に現在の姿に再建されました。真っ白な屋根が建物全体を覆う二角錐の形の斬新なデザインで、高さ53メートルの2本の塔は遠くからも見ることができます。礼拝堂内部にはたくさんのステンドグラスが施され、パイプオルガンも設置されています。

拝観時間／9時～11時
献金
休館日／年中無休（臨時休館あり）

MAP・P19

凌雲寺跡 大

【国指定史跡】

山口市菜香亭から車で20分



凌雲寺は30代大内義興の菩提寺で、義興が開基と推定されています。大内氏滅亡後に廃寺になったと推測されますが、現在は総門の跡と伝える石垣が残っています。

MAP・P19

ぶらり湯田温泉へ行こう

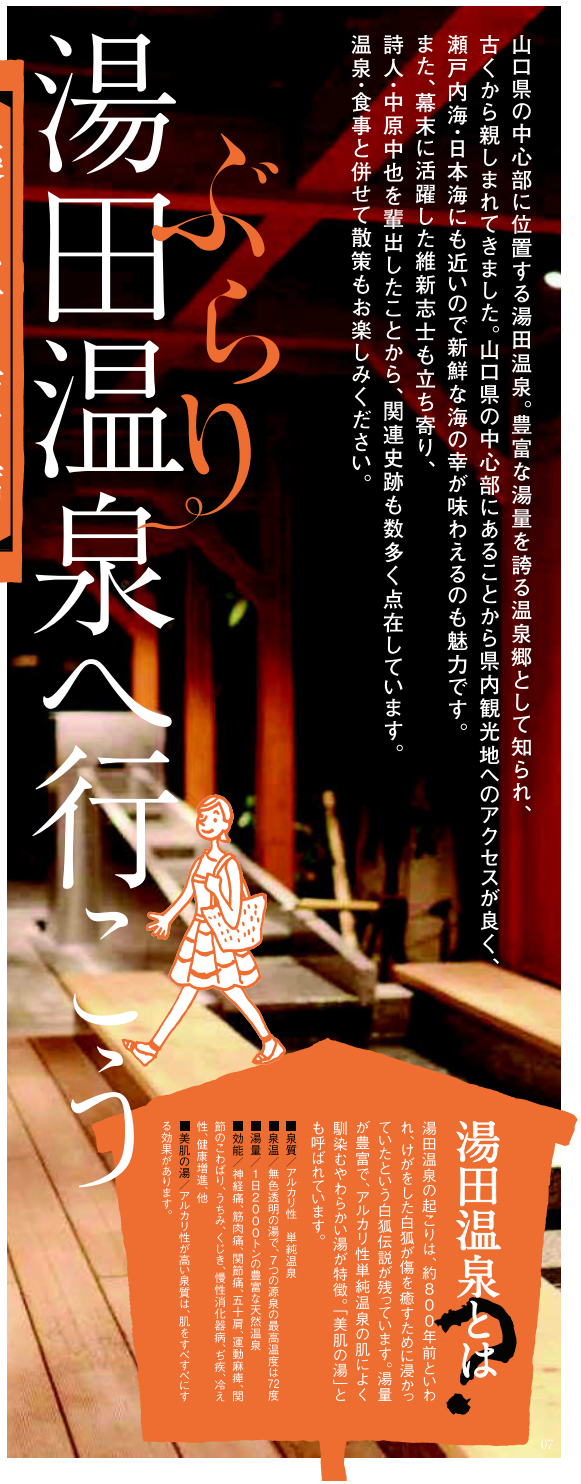
楽しみ方・活用篇

山口県の中心部に位置する湯田温泉。豊富な湯量を誇る温泉郷として知られ、古くから親しまれてきました。山口県の中心部にあることから県内観光地へのアクセスが良く、瀬戸内海・日本海にも近いので新鮮な海の幸が味わえるのも魅力です。また、幕末に活躍した維新志士も立ち寄り、詩人・中原中也を輩出したことから、関連史跡も数多く点在しています。温泉・食事と併せて散策もお楽しみください。

湯田温泉とは

湯田温泉の起こりは、約800年前といわれ、けがをした白狐が傷を癒すために浸かっていたという白狐伝説が残っています。湯量が豊富で、アルカリ性単純温泉の肌によく馴染むやわらかい湯が特徴。「美肌の湯」とも呼ばれています。

- ■泉質／アルカリ性・単純温泉
- ■泉温／無色透明の湯で、7つの源泉の最高温度は72度
- ■湯量／1日2000トンの豊富な天然温泉
- ■効能／神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、せき、冷え性、健康増進、他
- ■美肌の湯／アルカリ性が高い泉質は、肌をすべすべにする効果があります。



いろんな食の楽しみ方 グルメのまち・湯田温泉

山口県のほぼ中央に位置する湯田温泉では、山口市内産の特産品はもちろん、山口県内各地から新鮮な食材や美味しい山口グルメが集まってきます。居酒屋、レストラン、バー、カフェと様々な店舗で山口グルメを提供しているので、「温泉」だけでなく「食」も楽しむことができます。



ふぐ刺し

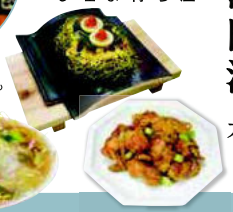
▲本格的なフグのフルコースから気軽に食べられる単品メニューなど店舗によって様々なのでニーズに合わせて選択できる



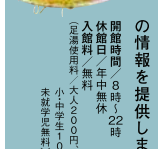
ふぐ唐揚げ　ふぐ雑炊

湯田温泉なら山口の地酒がそろう▼





「ばりそば」や「瓦そば」、シメもご当地グルメで！



湯田温泉に来たらまずここ！

湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」

湯田温泉を訪れる観光客の拠点となる施設。湯田温泉を中心とした「観光」「食」「特産品」の情報を提供します。

開館時間／8時～22時
休館日／年中無休
入館料／無料（大人200円、小・中学生100円、未就学児無料）
（足湯使用料）



カフェに

食の情報

足湯で地酒などが飲める！



阿知須牛のステーキ

▶「見蘭牛」「阿知須牛」「あとう和牛」など山口県内のブランド牛をどうぞ



長州どりのもも、ねぎま、ささみ、つくね

▶「長州どり」を提供する店舗も多いので食べ比べもできる



甘鯛、ケンサキイカ、ハモ、背つきアジ、メダイの刺盛

▶ハモ、アンコウなど、瀬戸内海と日本海、響灘、それぞれで獲れた鮮魚を味わえる



桃のフルーツカクテル

▶山口の地酒に合わせて郷土料理を楽しむ



山頭火と鯨竜田揚



トマトと抹茶のジェラート

▶二次会はバーで山口フルーツのカクテルなどもいかが

▶散策途中には山口のスイーツでひとやすみ

こんなことができる施設！

湯田温泉をぶらり

- カフェで地酒などをおためし
- 展示スペースで湯田温泉や山口を知る
- ニーズに合った「食」の情報を手に入れる
- カフェメニューも楽しめる
- 足湯で温泉を体験する



湯田温泉に宿泊すれば県内へのアクセス抜群！

湯田温泉は、山口県の中央に位置していることから、主要な観光スポットへのアクセスが良く、車で平均約60分で着くことができます。そのため、湯田温泉を宿泊拠点にすることで、自由自在に山口県内をめぐる観光プランを立てることが可能になります。



ぶらり 1泊2日でこんな観光しました！



ぶらり湯田温泉へ行こう

観光篇

湯田温泉観光案内所で情報収集 00

常時、観光案内と旅館案内のスタッフが在駐。市内観光から宿のことまで情報収集できます。湯田温泉の散策はこちらからどうぞ。

営業時間／9時～18時
休業日／年中無休
駐車場／3台うち、身障者用1台）
TEL／083-901-0150



飲泉場

高さ1.2mの石から流れ出る温泉をぐい呑みで飲んでみよう。



開運飲泉ぐい呑み

飲泉場で使えるぐい呑みを販売。1個200円



レンタサイクルあります！

営業時間／9時～17時
利用料金／普通自転車（4時間以内）600円（時間超過ごとにプラス100円）電動自転車（4時間以内）1000円（時間超過ごとにプラス200円）
台数／普通自転車10台、電動自転車5台

電動アシスト自転車もあります。

タオル生地の巨大ゆう太。



湯の町通りの各店舗にいます。手に持っているものを見比べてみよう。

ゆう太を探せ！

湯田温泉には至るところに白狐をモチーフにした湯田温泉のマスコット「ゆう太」がいます。いろんなゆう太を見つけてみよう！



凛々しいゆう太。キリッ。



郵便ポストになったゆう太。



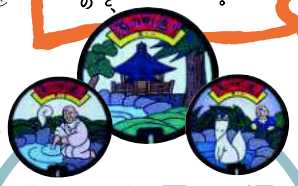
丸くなる姿がかわいいゆう太。



あたたかいお湯が出てるよ。

湯田温泉マンホールを見つけよう！

白狐伝説をモチーフにしたもの、山頭火の句が入ったもの…。湯田温泉にまつわる楽しいマンホールの蓋があちこちに点在しています。散策しながら探してみよう！







白狐伝説

昔々、湯田の権現山の麓の寺に小さな池があった。その池に毎晩、傷ついた白狐がやってきて、足をつけていた。この様子を見ていた寺の和尚さんが、不思議に思って、その池の水をすくってみると、温かい。そこで池を深く掘ってみると、湯がこんこんと湧き、薬師如来の金像があらわれ、この仏像をお堂に安置した。この仏像を拝んで入浴すると、難病がたちどころに治り、湯田は「白狐の湯」として評判の温泉地となった。

中原中也記念館 01

詩人・中原中也の生誕地に建つ記念館。常設展示のほか、テーマ展示、企画展、特別企画展として年数回の展示替えを行っています。中也の草稿、日記、書簡等の資料を通して、中也の世界に触れることができます。

開館時間／5月～10月　9:00～18:00（入館は17:30まで）11月～4月　9:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）・毎月最終火曜日・年末年始（12/29～1/3）
※その他、臨時休館あり
入場料／一般330円、学生220円、70歳以上・18歳以下無料
駐車場／中也記念館・狐の足あと専用駐車場
TEL／083-932-6430



中原中也



写真提供：中原中也記念館

明治40年（1907）、山口市湯田温泉に生まれました。30歳という短い生涯を詩に捧げ、350篇以上もの詩を残しました。死後、年とともに作品の評価が高まり、今では日本の近代文学を代表する抒情詩人に挙げられます。



ぶらり「碑」めぐり

い **中原中也詩碑**（錦川通り）
「童謡」
しののめの　よるのうみにて　汽笛鳴る。
こころよ　起きよ　目を醒ませ。
しののめの　よるのうみにて　汽笛鳴る。
泰の国王の　汽笛鳴る。

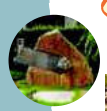
ろ **種田山頭火句碑**（錦川通り）
「ちんぽこもおそそも湧いてあふれる湯」

は **七卿の碑**（井上公園）維
幕末、井上家の離れ「何遠亭」に一時身を寄せていた三条実美ら七卿らの志は実現し、明治の新政府が樹立。この碑は、七卿の遺跡を記念するため建立されました。

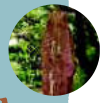
に **中原中也詩碑**（井上公園）
「帰郷」
これが私の故里だ
さやかに風も吹いてゐるし
あゝ　おまへはなにもして来たのだと……
吹き来る風が私に云ふ

ほ **種田山頭火句碑**（井上公園）
「ほろほろ酔うてこの葉ふる」

へ **周布政之助の墓・碑**（周布町）維
幕末動乱期に長州藩の重臣として藩政に尽くした周布政之助。その偉勲を永久に伝えるため、自刃の地の近くに碑が建てられました。また、近くに墓もあります。









ぶらり「足湯」めぐり

湯田温泉には気軽に利用できる足湯が7箇所あります。散策で疲れた足を癒してください。



湯の香足湯

A **湯田温泉観光案内所前** 利用時間／9:00～22:00
県道沿いにあり、分かりやすい場所です。観光客がよく利用するようです。

B **湯の香通り** 利用時間／10:00～22:00
路地にあるため、落ち着いた雰囲気でゆったりと過ごせます。

C **湯の町通り** 利用時間／10:00～22:00
飲食店街の中央に位置し、便利な立地です。

D **サンフレッシュ山口** 利用時間／9:00～20:00
駐車場が多いので車で来る方には利用しやすい場所です。

E **井上公園** 利用時間／10:00～22:00
井上公園の中にあるので、広々とした開放感のある足湯です。

F **湯田温泉駅前** 利用時間／10:00～22:00
山口線を行き来する列車を見ながら、足湯をどうぞ。

G **狐の足あと** 利用時間／8:00～22:00
屋内と屋外に足湯があり、音楽や灯りによる演出も実施。
足湯使用料は、大人200円、小・中学生100円、未就学児無料。

ゆう太・ゆう子タオル 1枚200円 湯田温泉観光案内所で販売。



駅前ゆう太

湯田温泉駅を降りると、見上げるほどの巨大な白狐・ゆう太がお出迎え。高さ何メートルでしょう？



答え：8メートル

維 **維新マーク** 明治維新に関連した史跡。

井上公園 02

幕末から明治にかけて活躍した井上馨の生誕地で、園内には井上馨の銅像や七卿の碑、中原中也の詩碑、種田山頭火の句碑、足湯があります。



維 **何遠亭跡**
幕末、尊皇攘夷派の三条実美ら七人の公卿が幕府に退京を命じられました。毛利敬親公はこれを迎え、井上家（現・井上公園）を増築して住まわせました。その建物は「何遠亭」と呼ばれました。





維 **維新の湯**
幕末、湯田温泉では、高杉晋作、木戸孝允、西郷隆盛、大久保利通、伊藤博文、大村益次郎、山県有朋、井上馨、坂本龍馬らが、しばしば会合し、倒幕・王政復古の密議をしたそうです。そのときに入浴使用したといわれる「維新の湯」が湯田温泉のホテルに残っています。



錦川通りは川だった！

かつては錦川という川でしたが、水害が多く、昭和45年に暗渠になってしまいました。柳の木、カーブする道路を見ると、なんとなく川の風情が伝わりませんか？



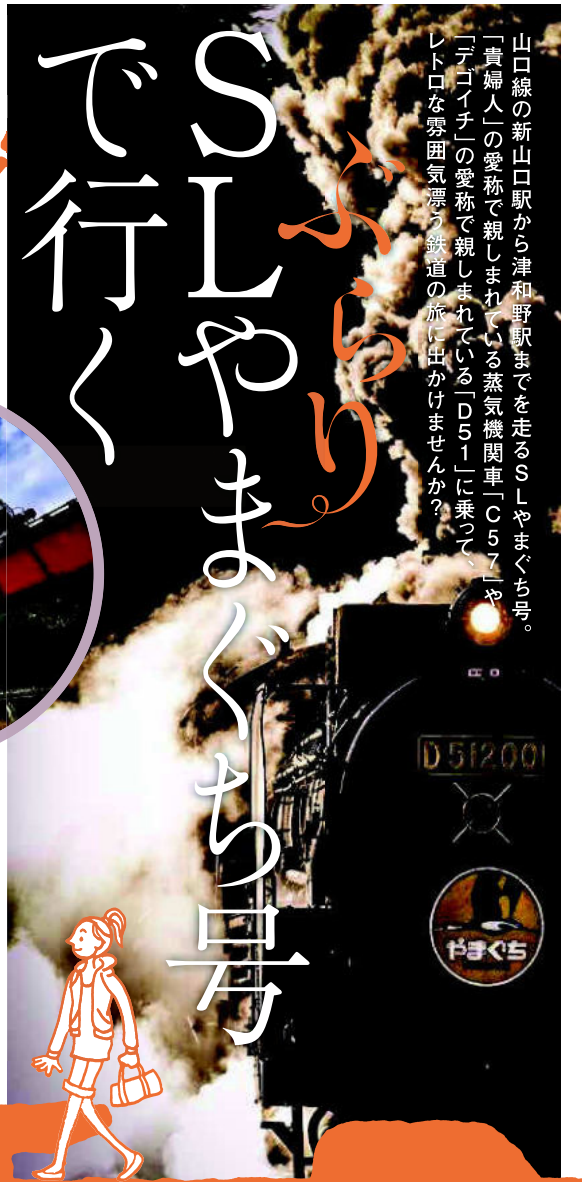
温泉舎 03

湯田温泉街にある7カ所の泉源の一つで、湯が毎分最大270リットルも湧き出る様子が見られる「受湯槽」や自然石を利用した「飲泉場」、天然温泉の湯気と香りが体感できる「湯の川」などがあります。高さ約7.9mの櫓が夜にはライトアップされ、湯田温泉のシンボルとして親しまれています。



ふらり SLやまぐち号で行く

山口線の新山口駅から津和野駅までを走るSLやまぐち号。「貴婦人」の愛称で親しまれている蒸気機関車「C57」や「デゴイチ」の愛称で親しまれている「D51」に乗って、レトロな雰囲気漂う鉄道の旅に出かけませんか？



SLやまぐち号

新山口を出発し、湯田温泉、山口、長門峡、そして、山陰の小京都・津和野まで、62.9kmを約2時間かけて走るSLやまぐち号。かつて、全国の蒸気機関車が廃止される中、昭和48年10月、山口線からもSLは姿を消しました。その後、多くのSLファンや地元を中心にSL復活への気運が高まり、昭和54年8月、山口線にSLが復活することになりました。多くの人々を乗せて山口線を駆け抜けています。

運行区間／新山口駅～津和野駅（1日1往復）
運転日／主に土・日・祝
（運転日カレンダーによる）
全席指定／乗車券のほかに座席指定券が必要。乗車1カ月前の10時から主なJRのみどりの窓口・旅行会社で購入可能。

津和野駅 転車台

津和野駅でSLを見よう!

SLやまぐち号の終着駅である津和野駅。到着したSLは、構内の転車台で向きを変え、復路の運行の準備を始めます。自由に見学できる広場があるので、作業風景をじっくり見ることができます。

津和野



鉄橋を渡るSL

往路では、長門峡駅を出発直後に鉄橋を渡ります。その姿をカメラに収めようと、多くのSLファンが集まります。



駐車場でSLやまぐち号の走る姿に出会えますよ!
12:03頃／16:32頃

船平山
徳佐
鍋倉
名草
三谷
地福（新山口駅行きは通過）

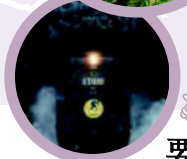
峠越え

仁保～篠目間の峠越えは、SLやまぐち号にとって難所。1000分の25の連続する急勾配を力強く進んでいきます。



トンネルは要注意

SLは、石炭を燃やして走るので、煙を出します。SLがトンネルに入る時は、窓を閉め、展望デッキにいる方は車内へ移動しましょう。





……SLに乗らなくても見ることができるポイント

篠目駅の給水塔



蒸気機関車に水を補給するための給水塔。現在は使われていませんが、1922年に建てられたレンガ造りの給水塔が残っています。

撮影タイム

往路では、地福駅で10分程度停車します。SLを降りて広々したホームで記念撮影!



重連運転

運行日によっては、複数の機関車が連結して走る「重連運転」の日があります。



渡川
長門峡
篠目
（新山口駅行きは通過）
仁保
上山口
宮野
山口
湯田温泉
矢原
大歳
仁保津
上郷
周防下郷
新山口

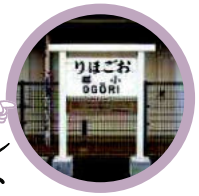
エネルギー補給

山間にある仁保駅。往路では、石炭を燃やし、急勾配を登るための準備をするため6分程度停車します。



レトロな駅名看板

SLやまぐち号の各停車駅にはレトロな駅名看板! 開業当時に使われていた木製の駅名看板です。



SLに乗ったら手を振ろう!

SLに乗ったら窓の外に向かって手を振ってみましょう。沿線にいる地元の方々が手を振り返してくれるかも。



湯田温泉駅前足湯

湯田温泉駅でSLを見よう!

湯田温泉駅前には、SLやまぐち号を見ながら入れる足湯があります。停車時間に合わせて行ってみよう!
〈停車時間〉11:05頃／17:14頃



新幹線との接続

東京や鹿児島の遠隔地でも新幹線にのればその日のSLに乗車も可能。

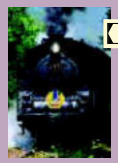
……SL停車駅
（地福駅・仁保駅については新山口駅行は止まらず通過）

旅のおとも「駅弁」

新山口駅おみやげ街道、SL運行日は新山口駅1番ホームの臨時売店で様々な駅弁を販売しています。中には、SLに関する駅弁や山口ならではの駅弁があるかも?!

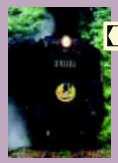


SLやまぐち号 けん引機関車



C57

細いボイラーと大きな動輪の組み合わせからスタイル全体のバランスがとれており、「貴婦人」の愛称で親しまれています。



D51

牽引力が強く、急勾配区間の旅客用機関車としても使用されています。「デゴイチ」の愛称で親しまれ、蒸気機関車の代名詞にもなっています。

レトロ客車

SL全盛期の復刻客車で昭和初期レトロ風に!

35系客車 ブルーリボン賞受賞

昭和初期に製造された「マイテ49」「オハ35」「オハ31」の復刻モデルに客車がリニューアルされ、投炭ゲームやSL運転シミュレーターなどお楽しみコーナーも充実。昭和初期の雰囲気を楽しめるSLやまぐち号です。





昭和13年、特急「富士」（東京～下関）に使用するため製造された「マイテ49」の客車と展望車を復刻





昭和14年から製造され戦前・戦後に全国で活躍した客車「オハ35」を復刻

3号車には展示スペースもあります

オリジナルグッズ SLチョロQ

山口線沿線の新山口駅、湯田温泉駅、山口駅の店舗や道の駅長門峡でお求めください。
SL車内での販売もございます。
お問い合わせ／（株）ジェイアールサービスネット広島（キヨスク用）
TEL082·261·4782



ぶらり歴史の道・萩往還

維新の志士たちも駆け抜けた、萩～山口～防府をつなぐ歴史の道「萩往還」。歴史ロマンあふれる萩往還を歩きながら、武士や庶民、幕末の志士たちの想いを感じてみませんか。

萩往還とは

萩市、山口市、防府市をつなぐ萩往還は、毛利氏が慶長9年（1604年）萩城築城後、江戸への参勤交代での「御成道」として整備されました。「日本海側の萩（萩市）と瀬戸内海側の三田尻港（防府市）をほぼ直線で結び、全長はおよそ53ｋｍ。江戸時代の庶民にとって山陰と山陽を結ぶ「陰陽連絡道」として重要な交通路であり、幕末には維新の志士たちも往来し、歴史の上で重要な役割を果たしました。

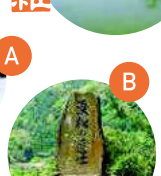
■国指定史跡
■歴史の道百選（文化庁選定）
■美しい日本の歩きたくなるみち500選（社）日本ウォーキング協会選定



萩城跡
建物は解体され、現在は堀と城壁の一部、石垣が残っています。1863年、毛利敬親が山口に藩庁を移すまで、ここが藩政の拠点となりました。



唐樋札場跡



涙松跡
萩の町がこの先から見えなくなってしまうことから、振り返って涙するという「涙松」（御道松）。安政の大獄で江戸送りになった吉田松陰もここで一首読んでいます。



明木市



一升谷の石畳



佐々並市の街道筋



国宝瑠璃光寺五重塔



防府天満宮



三田尻御舟倉跡
藩主が乗る舟が係留していた場所。吉田松陰や坂本龍馬らも、この三田尻から各地を行き来したといわれています。

維新の志士も歩いた萩往還

幕末には、吉田松陰、高杉晋作、木戸孝允、伊藤博文、坂本龍馬なども、この萩往還を歩いて行き来したといわれています。日本の夜明けを目指して駆け抜けた志士たちに思いを重ねながら歩いてみませんか？

距離

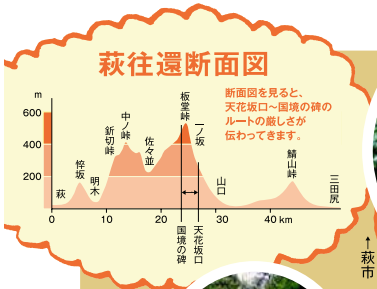
唐樋札場跡	A	
		約3.8km
涙松跡	B	
		約4.7km
明木市	C	
		約9.0km
佐々並市	D	
		約13.0km
国宝瑠璃光寺五重塔	E	
		約14.3km
鯖山峠	F	
		約5.2km
防府天満宮	G	
		約3.0km
三田尻御舟倉跡	H	

萩往還を歩いてみよう

〈天花坂口～国境の碑〉約3ｋｍ（約90分）

天花坂口～国境の碑のコースは、萩往還の中でも難所の四十二の曲がりを歩きます。石畳のポイントも多いので、往時に想いを馳せながら、萩往還の雰囲気を楽しむことができます。

萩往還断面図



断面図を見ると、天花坂口～国境の碑のルートの厳しさが伝わってきます。



↑萩市

国境の碑 07

長門国と周防国の国境を示す碑。創設年代は不詳ですが、宝暦年間（1751～1763年）作成と推定される絵図に記入されているので、その頃には存在していたと推定されます。



板堂峠 06

標高537m。萩往還で一番標高の高い峠道です。現在は、歩きやすく整備されています。

キンチヂミの清水 05



冷水が湧き出ていたという「キンチヂミの清水」。大正初期まで、ところてんを清水で冷やして通行人に売っていたそうです。

一の坂一里塚 04



石で積み上げた一里塚。主要な街道には一里ごとに塚が築かれました。この一里塚は、萩往還の中間点にあたります。

六軒茶屋跡 03



萩往還には茶屋が所々にありました。ここには昔、六軒の農家があり、軒先を茶店にして旅人をもてなしていたことから六軒茶屋と呼ばれるようになったといわれています。

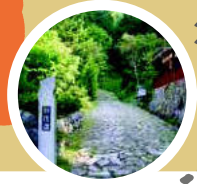
四十二の曲がり 02



天花坂口から六軒茶屋まで、急勾配の坂がいくつも続きます。「ここは一の坂四十二の曲がり 降りてくだされだんな様」という詩歌があります。

天花坂口 01

山口から萩へ向かう場合、この天花坂口から萩往還最大の萩所がはじまります。



石畳のワケ

萩往還の途中で現れる石畳は、歴史の道らしい雰囲気を感じさせてくれます。しかし、なぜ、石畳なのでしょうか。萩往還は、急峻な坂道や峠などの難所が多いのが特徴。そこで、土砂が崩れないようにしっかりと舗装するため、石畳を敷いたのです。

〈石畳ポイント〉
萩往還の中で石畳の部分を示しています。

やまぐち萩往還語り部の会

萩往還の歴史を学び、萩往還をガイドする案内人を派遣する「やまぐち萩往還語り部の会」が発足。有料で萩往還の案内人として活動しています。

お問い合わせ
やまぐち萩往還語り部の会事務局（山口観光コンベンション協会内）
TEL／083-920-3323
（平日13時～17時）

「裏」萩往還

毎年11月に山口市で開催される「山口天神祭」では、御神幸行列が繰り歩きます。大市～中市～米屋町～道場門前～西門前～黄金町～山口駅通りと、萩往還とは異なるルートで繰り歩きます。
地元ではこのルートが萩往還という認識が強くあるそうで、「裏」萩往還とも呼ばれているようです。





JR山口線

山口駅

ぶらり山口の食

海や山に囲まれ、豊かな自然に恵まれた山口。
海産物、畜産物、農産物、土産物など、
多彩な「山口の食」をお楽しみください。



あいおえび(車えび)

秋穂エリアは、車えび養殖発祥の地。一年を通して新鮮な車えびを食べることができます。秋穂エリアの宿や食事処では、刺身、焼き物、フライ、天ぷらと様々な車えび料理が味わえるコース料理を提供しています。車えびの踊り食いは、尾がピチピチ動くほどの新鮮。透き通った身は肉厚でプリプリとし、甘みも十分です。

ココで買える
- 道の駅「あいお」
- 特産品ショップ「やまぐちさん」など

ココで食べられる
- 国民宿舎海眺の宿 あいお荘
- 秋穂エリアの店など

やまのいも



徳地エリアで栽培される「やまのいも」は、非常に粘りが強いのが特徴で、コシがあります。150年前から徳地エリアで栽培されていたという記録があるようで、古くから地元の人のスタミナ食品として親しまれてきました。「つくねいも」「仏掌いも」とも呼ばれます。収穫期は11月など。

ココで買える
- 特産品・特産物加工販売所 南大門

くりまさる



甘みの強い阿知須エリア特産のカボチャ。栗より糖度が高いので「くりまさる」と名付けられました。その甘味とホクホクした食感が特徴。スイーツ、コロッケ、煮物など、甘味を生かした料理に適しています。販売は7月中旬～8月上旬頃。

道の駅「きらら　あじす」では、くりまさるを使用したソフトクリームが人気です!

ココで買える

チキンチキンごぼう

サクサクの衣をまとったジューシーな鶏のから揚げと風味豊かなごぼうに、甘辛のたれをからめた「チキンチキンごぼう」は、山口市の学校給食から生まれた人気メニューです。子どもも大人も大好きな味で、おかずやおつまみにぴったり! 山口市民が愛してやまないソウルフードです。



チキンチキンごぼう

海の幸



瀬戸内海に面しており、日本海にも近い山口市。瀬戸内海、日本海の両海で獲れる新鮮な海の幸を提供することが可能です。山口県内には、フグ、ケンサキイカ、ハモ、車えび、瀬つきあじなどのブランド魚が多く、山口市内の宿や飲食店などでは地元の鮮魚を積極的に取り入れた料理を提供しています。



ハモしゃぶ



くりまさるのソフトクリーム

はなっこりー



中国野菜のサイシンとブロッコリーを交配・育成した山口県オリジナル野菜。花も葉も茎も食べられ、しゃきっとした歯ごたえと甘味があるのが特徴。サラダ、和食、洋食、中華と、幅広い料理に合います。収穫期は9月～4月。

ココで買える
- 山口県内のスーパーなど
（季節や仕入れによっては ない場合もあります）



はなっこりーの生ハム巻き

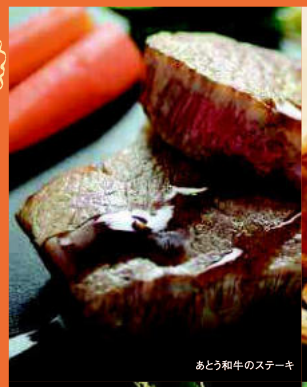


やまのいもの麦とろごはん

あとう和牛

阿東エリアの大自然の中で大切に育てられた「あとう和牛」。のびのびと育てられたあとう和牛は、独特のまろやかな舌触りが特徴です。良質な脂はどんな調理法にも合います。





あとう和牛のステーキ

ココで買える
- 道の駅「長門峡」など

ばりそば



太めの中華麺を揚げて、野菜の入ったとろみのある鶏ガラベースのスープをかけた料理。「ばりそば」という名称は、麺がバリバリしていることに由来しています。ばりそばを提供する店舗は市内に数店舗あり、山口市のご当地グルメとして愛されています。

大内御膳【完献】

明応9年(1500年)、室町幕府の第10代将軍だった足利義稙を、大内義興は中世最大の宴でもてなしました。当時存在しなかった砂糖、醤油などの調味料は使わず、500年前の味を忠実に再現したのが特徴。大内義興の心意気を「大内御膳」を通じてご体感ください!

お問い合わせ／山口商工会議所 TEL083-925-2300



大内弘世コース



大内義興コース

山口のご当地グルメ

ぶらり山口の食

お土産篇



外郎（ういろう）

わらび粉を主原料として、小豆餡、小麦粉、砂糖などを練り合わせて蒸したのが山口の外郎。ぷるっと柔らかい独特の食感と、上品で深い味わいが特徴です。山口を代表する伝統銘菓として、多くの人に親しまれています。

山口の生外郎

真空包装せずに、蒸した外郎をそのまま包んだ「生外郎」は、日持ちがしないため、山口でしか味わうことができません。山口を訪れたら「生外郎」を探してみましょう。

名古屋の外郎との違い

名古屋も外郎が名物ですが、山口の外郎とは少し違います。名古屋の外郎が米粉を主原料としているのに対し、山口の外郎はわらび粉を主原料としています。名古屋の外郎がもっちりとした食感で、山口の外郎はぷるっとした食感となっています。

山口の外郎 見くらべ 食べくらべ

山口市内には、外郎を製造・販売している店舗が多くあります。店舗によって、大きさや味が違ったり外郎があったり食べくらべてみるのも楽しいですよ。



ココで味わえる
■湯田温泉観光回遊施設 狐の足あと

定番は小豆味と抹茶味。

細長いタイプ。

白、黒、抹茶…、色も様々。

小ぶりで食べやすい。

大納言入り。

夏みかん味。

ラムレーズン入り！

山口の伝統工芸品

大内塗

室町時代、大内氏による中国や朝鮮との交易で漆器が重要な輸出品とされていたことから、山口で漆工芸が盛んに行われました。天然木に大内朱と呼ばれる淡い朱色の漆を塗り重ね、色漆で描いた秋草模様と金箔の大内菱をあしらったのが特徴。盆、箱、皿、箸などさまざまな製品があります。国の伝統的工芸品に指定されています。



大内人形



男女で一対になった「大内人形」には、こんな逸話が伝えられています。24代大内弘世は、京の公家から美しい花嫁を迎えましたが、花嫁は遠く離れた都を恋しがり、毎日寂しく思っていました。そこで、京から人形師を呼び寄せ、屋敷中を人形で飾り、花嫁を喜ばせました。その後、花嫁は幸せに暮らしました。大内人形はこの逸話を伝えるために作らせたと言われており、夫婦円満の象徴にもなっています。

Ouchi 夫婦もあります



山口萩焼

萩焼は、萩市を中心に山口県下に広がり窯元が作られました。山口市では、1892年、萩から移住した大和作太郎松緑により窯の火が起こされました。宮野に窯を築いたことから「宮野焼」または「松緑焼」と呼ばれ、主に萩焼を制作しました。現在では、伝統窯の火を守りつつ新風を求める陶芸家たちが山口萩焼を創り出しています。



りんご

阿東エリアで栽培されるりんごは、その気候から糖度が高いのが特徴です。このエリアには、西日本最大の観光りんご園が広がり、時期によって異なりますが、ふじ、つがる、ジョナゴールドなどの品種を味わえます。



ココで買える
■阿東エリアのりんご園で購入できます。道の駅「長門峡」「願成就温泉」では、りんごを使ったスイーツやジュースなどを販売。

地酒

清らかな水と良質の米で作られた山口の地酒には、近年、全国的に注目が集まっています。山口県オリジナル酒米「西都の雫（さいとのしずく）」で作られたお酒には、目印の札が付いています。同じ酒米を使っても、酒造場によって味わいが異なります。お土産にピッタリの山口県産素材で作られた地酒です。



ココで買える
■山口市内の土産店や酒販店などで販売しています。

ココで味わえる
■湯田温泉観光回遊施設 狐の足あと

干しえび

秋穂産の赤えびを釜ゆでし、天日で干したもの。えびの甘味や美味しさが噛むほどに味わえます。酒の肴としてそのまま食べても、料理に加えても、美味しくいただけます。



ココで買える
■秋穂エリアの土産店などで販売しています。
■道の駅「あいお」
■特産品ショップ「やまぐちさん」

カワラケツメイ茶

カワラケツメイは、黄色の花が咲くジャケツイバラ科の一年草。徳地エリアでは昔からよく飲まれている健康茶で、弘法大師が飲んでいたとの言い伝えから通称「弘法茶」とも呼ばれています。
カワラケツメイは、緑茶や紅茶と違ってカフェインが含まれていません。また、野草茶の中ではあっさりしていて万人受けします。



ココで買える
■南大門　■重源の郷
■特産品ショップ「やまぐちさん」
■道の駅「仁保の郷」など

小郡まんじゅう・小郡饅頭

こしあんを薄皮で包んだ焼き饅頭。柔らかでしっとりした餡の味わいが特徴。「○」と「ー」をあしらった「小郡まんじゅう」と、「小」の文字が入った「小郡饅頭」とがあります。



ココで買える
■新山口駅の土産店など

中部Area【山口・小郡】



A 新山口駅で出会える列車たち

新山口駅は、山陽新幹線と3つの在来線が集まっており、バスの発着も多く、山口県の交通の拠点となっています。新山口駅から伸びる在来線のうち、山口線はなんと非電化路線！エンジンを積んで自走しています。全線単線なのも特徴。車両が一両でカタコトと走る姿は、山口線らしい風景です。



スーパーおき キハ187系（山口線・山陰線）

キハ40・47系（山口線）

06 常栄寺 雪舟庭 大

紅葉シーズンには竹林と紅葉を同時に眺めることができ、一風変わった景観が楽しめます。雪舟庭の本堂では部屋の中から、庭園の横にある遊歩道では庭園を回りながら日本庭園の中に立つ紅葉を眺めることができます。(P5)



08 山口情報芸術センター[YCAM]

展示スペース、劇場、ミニシアターと市立中央図書館を併設した複合文化施設。インスタレーション展、パフォーミングアーツ作品の公演、サウンドイベント、ワークショップ、映画上映などを開催。国内外のアーティストを招いた滞在制作によるオリジナル作品を鑑賞しようと、県外からも多くの人が訪れます。



「見る」だけじゃない。メディアアートを楽しもう!

コンピューターや最先端の音響設備など、様々なデジタルメディアを駆使した新しい芸術表現がメディアアートです。YCAMでは、鑑賞者が触れたり、動いたりすることで作品が変化する双方向アートや、アーティストが創り出した空間表現を体感するインスタレーションなど、最先端のメディアアートを楽しむことができます。



開館時間／10:00～20:00（イベント開催時は22:00）
閉館日／毎週火曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始（12/29～1/3）・臨時休館日
入館料／無料
TEL／083・901・2222

10 東鳳翩山・西鳳翩山

東鳳翩山（標高734.2m）、西鳳翩山（標高741.9m）と連なっており、どちらも登山道が整備されて登りやすい山です。東鳳翩山は「新日本百名山」に選ばれています。



C 巨大な大内人形

JR山口駅では、直径1.5mの木製大内人形「フシノのお殿様」「フシノのお姫様」がお出迎え。着物には、山口の名所や四季の風景がデザインされているので、くるっと見てみよう!



13 KDDI維新ホール

2,000人を収容できる可変型の「メインホール」や大小12の連結可能な「会議室」をはじめ、健康づくりとヘルスケア関連産業の創出を目指す「メディフィットラボ」、シェアハウス型の若手人材育成施設「アカデミーハウス」、新たなビジネスの創出を支援する産業交流スペース「Megriba（メグリバ）」など様々な機能で構成される多機能複合施設です。







12 其中庵

俳人・種田山頭火が、昭和7年から昭和13年までの間に過ごした庵を平成4年に復元したもの。庭園や水琴窟のある休憩所、山頭火が使用していた井戸などがあります。

開館時間／9:00～17:00（10～4月）、9:00～18:00（5～9月）
休館日／年中無休
入館料／無料
TEL／山口市小郡文化資料館 083・973・7071



（山口市小郡文化資料館蔵）

種田山頭火とは?

明治15年（1882年）、山口県防府市に生まれました。世間から離れ、行脚の旅を続けながら、季語や五・七・五にとらわれない自由律俳句を世に送り出しました。



11 大村神社 維

山口市錦銭司出身で、日本の近代的兵制の創始者である大村益次郎を祀る神社。境内からは近くの長沢池の全景が望めます。神社の周辺には、大村益次郎の墓、遺品や資料を展示した錦銭司郷土館があります。



大村益次郎（国立国会図書館蔵）



07 木戸神社 維

維新三傑の一人・木戸孝允（桂小五郎）が祀られています。木戸はこの地に邸宅を構え山口藩庁での政務を行いました。亡くなるにあたり邸宅や山林を地区民に寄付し子弟の学資とするよう遺言しました。



木戸孝允（国立国会図書館蔵）



09 龍蔵寺

楼門、鼓の滝、滝の奥にある奥の院、雪舟筆と伝えられる青馬の額など、見どころの多い龍蔵寺。春には150種1,000株のぼたんが咲き、秋は樹齢約1,000年と推定される国の天然記念物の大イチョウが黄色い絨毯を敷き詰め、四季を通して楽しめます。

拝観料／大人200円、中高生100円、小学生50円
拝観時間／8:00～17:00
拝観休み／年中無休
TEL／083・924・1357

B 山口駅で時間があるなら特産品ショップ「やまぐちさん」まで散策

山口駅からまっすぐ歩くとショップが建ち並ぶ駅通りがあり、さらに進むとアーケードに着きます。アーケード内にある特産品ショップ「やまぐちさん」には、特産品や山口ならではのオリジナル商品がいっぱい!お土産を探してみては?（山口駅から徒歩8分）



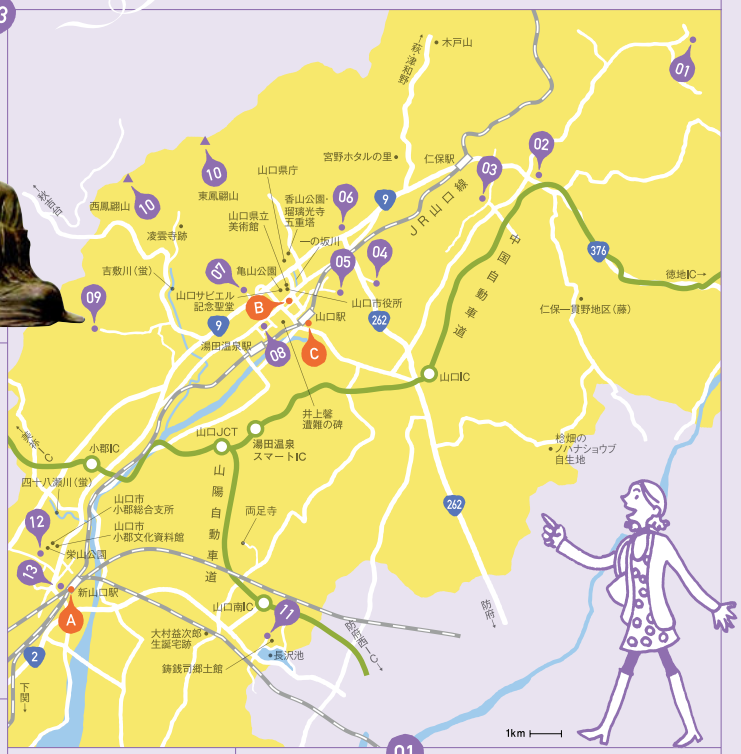


SLやまぐち号 D51200（山口線）

SLやまぐち号 C571（山口線）

中部Area【山口・小郡】

山口市の中部には、県庁をはじめ、さまざまな機関や施設が集中している山口エリアと、新山口駅があり、交通の要衝となっている小郡エリアがあります。街、交通、自然、文化、歴史が融合した中部エリアの中から、訪れたい場所を見つけてください。





03 源久寺・木造平子重経坐像

〈重要文化財（木造平子重経坐像）〉

源久寺の開祖である平子重経は、鎌倉時代、源頼朝に仕えていた人物。鎌倉時代の彫刻の中で在家の人の肖像は少なく、1991年には、イギリス大英博物館での「鎌倉彫刻展」に出品展示されました。



源久寺のオオガハス



千葉県にある約二千年前の遺跡で見つかった種から咲いたオオガハスを譲り受け植えたもの。開花時期は7月中旬～8月上旬。

04 清水寺

山門には、約600年前に製作された県下でも数少ない仁王像の傑作といわれる木造金剛力士像が安置されています。山門をくぐると長い石段の参道が続き、登りきると観音堂と山王社本殿があります。平城天皇の御代（806～809年）の創建と伝えられており、山口盆地の寺の多くが室町時代以降の創建であることを考えると、この周辺では最も古い寺といえます。



05 古熊神社 大

〈重要文化財（本殿・拝殿）〉

応安6年（1373年）に大内弘世が京の北野天神を勧請したのが始まりで、元和4年（1618年）に毛利秀就がこの地に遷宮したと伝えられています。本殿正面の三つの蟇股（かえるまた）には松竹梅の彫刻があり、日本で建築の装飾に松竹梅の組み合わせを取り入れた最も古いものとして有名です。

道の駅 仁保の郷

旬の地元野菜や果物、特産品の直売所をはじめ、菓子工房、パン工房、レストラン、惣菜工房、スイーツ工房の5つのお店があります。遊具のある公園もあり、子供と一緒にゆっくりと楽しむことができます。

営業時間／8:30～17:00
定休日／水曜日
TEL／083・929・0480



02

01 嘉村礒多生家・帰郷庵

私小説家・嘉村礒多の生家は築140年を経た古民家で、茅葺屋根や囲炉裏、五右衛門風呂があります。時間利用や宿泊利用が可能で古民家体験ができます。

お問い合わせ／山口市仁保地域交流センター内 嘉村礒多生家の会
TEL／083・929・0433
（受付専用電話：平日8:30～17:15）



嘉村礒多とは?



明治30年（1897年）、山口市仁保上郷に生まれました。波乱万丈な人生を描いた私小説を発表し注目を浴びましたが、病でわずか35歳の生涯を閉じました。

南部Area

【秋穂・阿知須】

山口市の南部は、瀬戸内海に面していることから年間を通して温暖な気候が特徴。瀬戸内海が見渡せるビュースポットが多くあります。車えびが特産の秋穂エリアと、居蔵造りの町並みで知られる阿知須エリアで、潮風を感じながらお過ごしください。



串山遊歩道展望台からの眺め



車えび養殖発祥の地

秋穂エリアは、世界で初めて車えび養殖事業が始まった地。山口県萩市出身で「車えび博士」とも呼ばれた藤永元作氏が、塩田跡地を利用して車えびの養殖を事業化しました。秋穂エリアには、車えびを提供する飲食店や車えびを販売している店舗が多数あります。



02 道の駅 あいお

車えびをイメージして建てられたユニークな建物。新鮮な瀬戸内海の魚介や海産物、地元の農産物や特産品を販売しています。

営業時間／9:00~18:00
定休日／第2・4水曜日・年末年始
TEL／083-984-5704



04 草山公園

秋穂エリアの南端にある標高116mの草山。遊歩道の途中には1,000本の桜や東屋、山頂には高さ約11mの白い灯台があり瀬戸内海を広く見渡せます。駐車場から草山崎灯台広場まで徒歩20分かかりますが、波の音を聞きながら散策を楽しめます。



03 中道海水浴場

弓なりにのびる砂浜が美しい中道海水浴場。海水浴だけでなく、ウィンドサーフィンやヨットなどマリンスポーツも人気。8月下旬に行われる「あいおえび狩り世界選手権大会」の会場です。



01 秋穂八十八ヶ所霊場めぐり

第一番 大師寺

天明3年(1783年)、遍明院の住職であった性海法印が開いた霊場。性海法印は、四国八十八ヶ所を巡り、各霊場から御符と霊場の土を持ち帰りました。その後、秋穂などの地に八十八ヶ所の地を選び、それぞれの地に霊場の砂を散布し、御符を供えて札所にしたのが始まりといわれています。秋穂八十八ヶ所は、正八幡宮境内の大師寺を第一番に巡礼には約2日間かかります。

南部Area 【秋穂・阿知須】

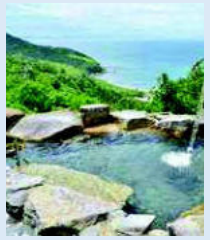


07 正八幡宮（重要文化財）

弘仁5年(814年)に宇佐から勧請、文亀元年(1501年)に大内義興が現在地に移築。現在の社殿は、元文5年(1740年)に建立されたときのもので、本殿・拝殿・楼門および庁屋が軒を接する建築様式は、山口地方独特のものであり、本殿・拝殿・楼門および庁屋が国の重要文化財に指定されています。

山尾庸三が寄進

参道の灯篭は、幕末、長州藩からヨーロッパに密かに留学した「長州五傑」の一人である山尾庸三が寄進したもの。



05 国民宿舎 海眺の宿 あいお荘

瀬戸内海を見渡せる絶好のロケーション。高台に設置された露天風呂からの風景は格別で、周防灘を一望するパノラマを眺めながら温泉を楽しめます。

入浴料／大人（中学生以上）570円、小学生・幼児（3歳以上）300円
外来入浴営業時間／10:00~最終受付16:00（17:00終了）、（毎週水曜日（祝日の場合木曜日）12:00~最終受付16:00（17:00終了）、（土日祝日・繁忙期）10:00~最終受付16:00（17:00終了）
TEL／0120-84-2202



06 朝日山 真照院

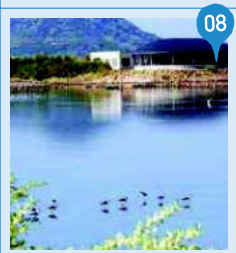
高さ約70mの朝日山の中腹にある朝日山真照院は、千年以上前に創建されたとされる寺で、秋穂八十八カ所の中心霊場。眺望が良く、瀬戸内海が一望できるビュースポットでもあります。



09 山口きらら博記念公園

2001年に開催された山口きらら博のメーン会場を整備した公園。子供から高齢者まで気軽にスポーツ・レクリエーションを通じて楽しむことができます。人工芝のフィールドを持つ多目的ドーム、サッカー・ラグビー場、水泳プールなどの施設が充実しています。

利用時間／9:00~22:00
休園日／12/29~1/3
※休園日以外でも、保守点検等のため施設を利用できないことがあります。
TEL／0836-65-6903



08 きらら浜自然観察公園

野鳥、ベッコウトンボや干潟の生きものなど、山口湾の自然が観察できる公園です。ビジターセンターには30台の望遠鏡があり、レンジャーが親切に解説いたします。きっと新しい発見があります。

開園時間／9:00~17:00
（入館は16:30まで）
休園日／月曜日（休日の場合は翌日）・年末年始（12/28~1/4）
入館料／大人200円、18歳以下無料
TEL／0836-66-2030

11 道の駅 きらら あじす

地元野菜や特産品の販売のほか、パン工房、もち工房、軽食コーナー、レストランを併設した道の駅。特産品のかぼちゃ「くりまさる」を使った様々な商品も販売しています。

営業時間／8:30~19:00
（店舗により異なります）
定休日／元旦・3月・6月・9月・12月の第2火曜日
TEL／0836-66-1001





10 阿知須 いぐらの館

阿知須エリアには居蔵造りの町並みが残っており、明治17年(1884年)に建てられた中川家はその造りを代表するもの。現在は「旧中川家住宅（愛称:阿知須いぐらの館）」として一般公開されています。

開館時間／10:00~16:00
入館料／無料
休館日／水曜日・木曜日・祝日の翌日・年末年始
TEL／0836-65-2403

居蔵造りの町並み

江戸中期から明治初期にかけて廻船業が栄えた阿知須エリア。建物が密集していたため、廻船業の人たちが、火事から家を守るため、瓦葺の屋根、漆喰で塗り固めた大壁、泥戸など防火機能に優れた「居蔵造り」の建物を建てました。阿知須浦地区には、今でもその町並みが残っています。



阿知須のひなもん。A

手作りのちりめん細工の人形や鞠をつなぎ、天井からいっぱいにつるす「ひなもん」。鮮やかな色合いや、ちりめん細工のかわいらしい姿が見る人の心をつかみます。毎年2月に阿知須商店街にひなもんを飾り付ける「ひなもんまつり」を開催。

北部Area【阿東・徳地】





10 ふれあいパーク大原湖

ケビン、オートキャンプサイトがある湖畔のキャンプ場。カヌー体験、フィッシング、マウンテンバイク、森林ウォーキングが体験できます。

TEL／0835·58·0200

11 岸見の石風呂

〈国指定重要有形文化財〉



重源上人が材木調達に従事した人々の保養のために始めた蒸風呂。今も入浴体験ができます。

負担金／1回10,000円（事前予約・貸切り）
お問い合わせ／山口市岸見石風呂保存会
TEL／090·5708·1426



12 森林セラピー基地

大原湖周辺は、森林セラピー基地に認定されています。愛鳥林エリア、大原湖畔エリア、長者ヶ原エリアがあり、体力に応じてコースを選ぶことができます。徳地の森の魅力を深く知る「森の案内人」が案内してくれます（要予約）。

案内人料金／案内人一人3,000円
お申し込み／森林セラピー山口
TEL／0835·56·5234

森林セラピーとは？

森が持つ癒し効果を科学的に解明し、心と体の健康づくりに活かしていこうという取り組み。「空気がおいしい」「景色がきれい」など、森の中で目や耳、鼻、手足を使い自然の素晴らしさを感じることでリラックス効果がより高まるといわれています。



15 特産品・特産物加工販売所 南大門

徳地エリアの新鮮野菜や特産品の販売所。観光や史跡の紹介など、徳地エリアの情報収集もできます。

開館時間／9:00～18:00（4月～12月）
9:00～17:00（1月～3月）
休館日／年末年始、不定休　TEL／0835·52·1772



14 法光寺 阿弥陀如来座像

像の彫りは力強く、鎌倉初期の特徴が出ています。この像の年輪が東大寺の仁王像（国宝）の年輪と同じことが判明し、注目を集めています。



13 重源の郷

茅葺き屋根や水車など、昔懐かしい山村風景を再現した体験交流公園。紙漉きや木工、竹細工、紙細工などの体験ができます。

営業時間／9:30～17:00（5月～10月）
9:30～16:30（11月～4月）
定休日／水曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始
入郷料／大人520円、小中学生310円
TEL／0835·52·1250

月輪寺薬師堂〈重要文化財〉



山口県下最古の木造建造物といわれています。一重寄棟造茅葺の簡素ながら調和のとれた様式が特徴。文治5年（1189年）、重源上人が藤原兼実の協力を得て建立したものと伝えられています。

重源上人とは？

平安時代末期から鎌倉時代にかけて活動した僧、俊乗房重源。東大寺再建を朝廷より命じられ、東大寺大勧進職として指揮をとりました。



17 ロハス島地温泉

岩風呂とヒノキ風呂がある源泉掛け流しの温泉施設。食事処、農産物直売所、特産品販売所も備えています。

入浴時間／10:00～20:00（受付19:00まで）
休館日／水曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始
入浴料／大人（中学生以上）520円、小学生250円、乳幼児無料、身体障害者の方は、身体障害者手帳の提示で250円、貸しタオル100円
TEL／0835·54·4545



06 柚木慈生温泉

炭酸ガス、カルシウム、ナトリウムなどの成分を大量に含む全国でもまれにみる優れた泉質の温泉。湯治利用の方が多く訪れます。

営業時間／10:00～20:00
定休日／毎月5日·18日
利用料金／大人：入湯料、休憩料各500円、3才以上小学生以下：入湯料、休憩料各200円
TEL／0835·58·0430



07 滑の三本杉

滑国有林内北部に立っている3本の天然杉。樹高約40m、樹齢約300年におよぶ巨木で、林野庁「森の巨人たち100選」に指定されています。



08 長門峡〈国指定名勝〉

数十万年前に、火山の噴火によって堰き止められた河川が流れを変えて、現在の長門峡に。丁字の出会い淵は、その生立ちの現場です。

09 道の駅 長門峡

長門峡の入口にある道の駅。情報案内コーナー、特産品販売所、レストランがあります。レストランでは、あとう和牛を使ったメニューを提供。

営業時間／9:30～18:00、
（レストラン）平日10:30～15:00（L.O.14:30）
土日祝10:30～16:00（L.O.15:30）
定休日／第2火曜日（8月は第1火曜日定休、11月は無休）、年末年始
TEL／083·955·0777





徳地の木が東大寺に！

平安時代末期、源平の戦いで東大寺は焼失しました。養和元年（1181年）、東大寺再建の責任者に任命された重源上人は、佐波川上流の徳地の地を訪れ、山奥から大量の巨木を切り出して、東大寺の材木としました。巨木の伐採や運搬は困難を極めましたが、新技術を導入することで大量の巨木を奈良へ送ることができました。再建した当時のものとして、東大寺南大門が現存しています。

北部Area【阿東・徳地】

山口市の北部は、中国山地の山間部にあたることから、山や森林、湖、渓谷など緑あふれる自然と出会うことができます。名勝長門峡のある阿東エリアと、森林セラピー基地のある徳地エリアで自然をたっぷりと満喫してください。

日本ジオパークに阿東地区も！

平成30年9月に日本ジオパークの認定を受けた「萩ジオパーク」。阿東地域全域が、そのエリアに含まれています。ジオ（地球、大地）の視点から、その生立ちを探ると新しい発見が！今までとは違う阿東の歩き方を提案します！



山芍薬

峯の先に花径4～5センチの白い花で、中の黒い種子と結実しない真っ赤な種子とのコントラストが美しい。植林による影響などにより準絶滅危惧に登録されている。山奥にあるため見るためには本格的登山を要するため注意が必要。

02 十種ヶ峰

標高989mの十種ヶ峰は、別名「長門富士」とも呼ばれています。登山、キャンプ、スキー、パラグライダーができ、スキー場ゲレンデを使ったマウンテンバイクダウンヒル（初心者用コースやレンタルバイクあり）や、周辺田園地帯を走るロードバイクレンタルもあります。アウトドアスポットとして四季を通して楽しむことができます。また、ゴールデンウィークには、山芍薬（ヤマシャクヤク）の群生地を観に来る登山者で賑わいます。

TEL／十種ヶ峰オートキャンプ場 083·958·0809／スキー場 083·958·0547



01 道の駅 願成就温泉

日帰り温泉が楽しめる道の駅で、日本庭園風の広々とした露天風呂があります。平成30年4月にリニューアルオープンし、無料の足湯も新設しました。

営業時間／9:00～21:00（最終受付20:30）、レストラン・売店は要問い合わせ
定休日／第3水曜日
入浴料／中学生以上520円、小学生300円、小学生未満無料
TEL／083·957·0118



03 常徳寺庭園〈国指定名勝〉

本堂の東側に池泉鑑賞式庭園があります。常徳寺庭園は、雪舟作という伝承記録があり、石組の構成が雪舟の作庭に似ているといわれています。他に例のない岩盤削り出しの滝石組や築山の独特な作庭技法、鍾乳洞の霊水の取り入れ等が判明し、優れた作庭として価値が認められています。



04 徳佐八幡宮しだれ桜

〈国指定名勝〉

参道の両側にしだれ桜とエドヒガン桜が約300本植えられている桜の名所。毎年4月上中旬には満開のサクラが参道にトンネルを作り、多くの花見客が訪れます。



05 観光農園

阿東エリアでは、りんご・梨・ぶどうの観光農園が多数点在しています。特に、特産のりんごは15,000本を数える西日本最大の観光りんご園として親しまれ、太陽をいっぱい浴びた新鮮でおいしいりんごをその場で味わうことができます。

TEL／NPOあとう 083·956·2526



山口イベントカレンダー

歴史ある山口では、山口祇園祭や山口七夕ちょうちんまつりなど、何百年も前から伝わる伝統行事が大切に守られています。また、地域性を活かしたユニークなイベントも開催されています。



春

湯田温泉 白狐まつり
【4月上旬～上旬】

「白狐が見つけた湯」という湯田温泉の伝説に因んで、白狐たいまつ行列などが催されます。期間中は、旅館内の内湯が割引で開放されます。

場所／湯田温泉一帯

ほたる観賞Week！
【5月下旬～6月上旬】

一の坂川に乱舞する国の特別天然記念物「ゲンジボタル」。見頃の1週間を「ほたる観賞Week！」と題し、期間中の土曜日にはホタルを観賞しやすいよう、両岸の道路に交通規制を行い、各種イベントが開催されます。

場所／一の坂川沿い



山口ゆらめき回廊
【9月中旬～10月中旬】

国宝瑠璃光寺五重塔がある香山公園の散策道に、約1000個のキャンドルライトが灯され、幻想的な雰囲気が味わえます。期間中は日替わりで、コンサート等も開催されます。

場所／香山公園

湯田温泉酒まつり
【10月上旬】

全国でも高い評価を受けている山口の地酒。約20の蔵元の日本酒が湯田温泉の飲食店を巡りながら味わえます。山口の地酒と食が堪能できるイベントです。

場所／井上公園周辺



桜まつり
【4月上旬】

場所／徳佐八幡宮

湯田温泉白狐まつり
【4月上旬土日】

場所／湯田温泉一帯

大原湖さくらロードレース大会
【4月中旬】

場所／ふれあいパーク大原湖

山口アーツ&クラフツ
【4月中旬】

場所／維新百年記念公園

秋穂八十八ヶ所霊場お大師まいり
【旧暦3月20日・21日】

場所／秋穂及び名田島・秋穂二島各寺及び各札所

青空天国いこいの広場
【5月5日】

場所／山口市中心商店街

お田植え祭り
【5月中旬】

場所／道の駅「願成就温泉」前の田んぼ

阿知須浦まつり・花火大会
【5月下旬～6月上旬】

場所／阿知須駅前・東比須神社・阿知須漁港広場

ほたる観賞Week！
【5月下旬～6月上旬】

場所／一の坂川沿い

夏

ゆうすげ祭り
【7月中旬】

場所／船平山

ふしの夏まつり
【7月第4土曜日】

場所／権野川東連河川公園

山口祇園祭
【7月20日・27日】

場所／八坂神社・竪小路・山口市中心商店街 ほか

山口七夕ちょうちんまつり
【8月上旬】

場所／山口市中心商店街・パークロード ほか

音楽と花火のタベ ✳
【8月上旬】

場所／陸上自衛隊山口駐屯地内

あいおえび狩り・世界選手権大会
【8月下旬】

場所／中道海水浴場

十種ヶ峰登山マラソン大会
【8月下旬】

場所／十種ヶ峰

とくち夏祭り・花火大会 ✳
【8月下旬】

場所／出雲合橋付近

秋

山口ゆらめき回廊
【9月中旬～10月中旬】

場所／香山公園

岩戸神楽
【10月上旬】

場所／熊野神社

湯田温泉酒まつり
【10月上旬】

場所／井上公園周辺

厄神舞
【旧暦の10月始めの子の日】

場所／須賀神社

長門峡もみじ祭り
【11月3日】

場所／道の駅「長門峡」

やまぐちスペインフィエスタ
【11月上旬】

場所／山口市中心商店街

あいお祭り・あいお花火まつり ✳
【11月第1日曜日】

場所／秋穂地域交流センター・大海漁港周辺

浜村杯秋穂ロードレース大会
【11月第3日曜日】

場所／秋穂中学校周辺

山口天神祭
【11月23日】

場所／古熊神社・山口市中心商店街 ほか

餅ひろい世界選手権
【11月23日】

場所／阿東ふるさと交流促進センター

山口天神祭
【11月23日】

「山口の天神さま」とも呼ばれる古熊神社の御神幸祭として知られています。参勤交代を再現した備立行列や、古熊神社の御神体を乗せた御網代車を引く御神幸行列が行われます。きらびやかな衣装をまとった奉仕者や豪華な車などが練り歩く様は、江戸時代の風情を味わうことができます。

場所／古熊神社・山口市中心商店街 ほか



餅ひろい世界選手権
【11月23日】

山口県民が好きな「餅ひろい」。ひろった餅の総重量を競う世界選手権です。部門別に競い合い、上位入賞者には豪華特産品のプレゼントが用意されています。（選手権参加には事前申込が必要です。）同時開催の収穫祭では、阿東で収穫された野菜やお米を使った料理を提供します。

場所／阿東ふるさと交流促進センター



山口祇園祭
【7月20日～27日】

室町時代に大内氏が京都から勧請した八坂神社の例祭で、約600年続いている伝統ある祭。20日は八坂神社で鷺の舞が奉納されたあと、祇園囃子や御神輿が御旅所まで練り歩きます。24日には市民総踊りが行われ、27日は女みこしも加わり御旅所から八坂神社まで練り歩きます。

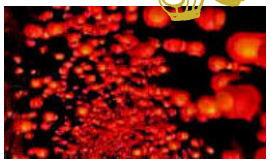
場所／八坂神社・竪小路・山口市中心商店街 ほか



山口七夕ちょうちんまつり
【8月上旬】

竹に付けたちょうちん飾りが、街を赤く染めます。数万個の紅ちょうちんが幻想的な光を放ち、商店街は紅ちょうちんのトンネルで美しく彩られます。ちょうちん山笠の巡行も行われます。

場所／山口市中心商店街・パークロードほか



あいおえび狩り世界選手権大会
【8月下旬】

活きた車えびを海水浴場の干潟に放し、参加者が一斉に素手で捕まえる大会。捕まえた車えびの数を競います。車えび養殖発祥の地秋穂を代表するイベントで、毎年事前申込後抽選になるほどの人気です。

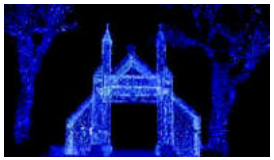
場所／中道海水浴場



12月、山口市はクリスマス市になる。
【12月】

日本のクリスマス発祥の地である山口。市内各所で「12月、山口市はクリスマス市になる。」を合い言葉に、イルミネーションなどクリスマス関連イベントが行われ、クリスマスを祝います。

場所／亀山公園ふれあい広場・二の坂川周辺
山口市中心商店街・新山口駅周辺ほか



冬

12月、山口市はクリスマス市になる。
【12月】

場所／亀山公園ふれあい広場・二の坂川周辺・山口市中心商店街・新山口駅周辺ほか

クリスマスナイトフェスティバル
【12月下旬】

場所／阿東地域交流センター地福分館横駐車場

あいお道の駅まつり
【12月28日】

場所／道の駅「あいお」

あとう雪まつり
【1月下旬】

場所／十種ヶ峰スキー場

阿知須ひなもんまつり
【2月上旬～中旬】

場所／阿知須商店街

高倉荒神祭
【2月28日】

場所／高倉荒神社

✳：花火有り

※イベントの日程や開催の有無は、変更される可能性があります。

山口観光インフォメーション

観光ガイド

山口市観光ボランティアガイドの会

●瑠璃光寺五重塔を含む香山公園一帯をガイド（P3〜4参照）
案内地域／香山公園一帯
お申し込み／香山公園入口の東屋にグリーンのジャンパーを着たガイドが待機しています。

●市内どこでもガイド
案内地域／山口市内全域
案内時期／年中無休（要予約）
料金／無料
お申し込み／申込者氏名・住所・電話番号・人数・希望するガイド地域と集合場所を明記の上、1週間前までにFAX083・928・2051
お問い合わせ／山口市観光ボランティアガイドの会
083・928・2000

やまぐち萩往還語り部の会（P13〜14参照）
案内地域／萩往還

市内交通案内

●西の京やまぐち市内交通案内サイト
出発地から主な観光地まで交通手段ごとに料金や所要時間を掲載しているサイトです。

●JRおでかけネット
JR西日本が運営する鉄道・観光サイトです。時刻表・運賃・駅・路線図等の営業情報や西日本各地の観光情報等が掲載されています。
JRおでかけネット 検索

●バスゲート
携帯で経路・時刻検索ができるバス案内サービスです。山口県内の各バス会社に対応しています。
バスゲート 検索

●yahoo!路線情報
携帯やパソコンで鉄道や主なバスの経路・時刻・運賃や駅情報等の検索ができます。
yahoo!路線情報 検索

●山口市コミュニティバス
吉敷・湯田ルート、大内ルートがあり、中学生以上は一律200円です。（一部の方を除く）
山口市交通政策課 083・934・2729

●BUSit（バスイット）
バスの走行位置等がわかるサービスです。
バスイット 検索

●うべバスナビ
新山口駅から阿知須・宇部方面のバスの時刻表・接近情報等はこちらをご覧ください。
うべバスナビ 検索

湯田温泉旅館協同組合加盟旅館宿泊者限定

湯田温泉 乗合観光タクシー

【2時間コース／1人3000円】
出発時間／9時、10時、14時、15時
湯田温泉→サビエル記念聖堂→パークロード→藩庁門→洞春寺→観音堂→香山公園（国宝瑠璃光寺五重塔）→の坂川→菜香亭→常栄寺雪舟庭→サビエル記念碑→JR山口駅→湯田温泉

【1時間コース／1人2000円】
出発時間／9時、10時、15時、16時、20時
湯田温泉→サビエル記念聖堂→国宝瑠璃光寺五重塔→の坂川→JR山口駅→湯田温泉

お問い合わせ／宿泊先フロント・湯田温泉観光案内所
083・901・0150
※1名より利用可。4人以上のグループの場合は、出発時刻に関わらず臨時便有。
※有料施設への入場料は含まれておりません。
※ご希望や時間の都合により、全て回れない場合がありますのでご了承ください。

美術館・博物館・資料館



山口県立山口博物館 MAP P5
理工・地学・植物・動物・考古・歴史・天文についての常設展示と、親子で楽しめる企画展を夏に開催。
開館時間／9時〜16時30分（入館16時まで）
休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）、全館保電日、年末年始、全館消毒日他
入館料／常設展…一般150円、学生100円
企画展・別室に定めた料金
TEL／083・922・0294



山口県立美術館 MAP P5
ユニークな自主企画展など、年間を通じてさまざまなテーマの展覧会を開催。
開館時間／9時〜17時（入館16時30分まで）
休館日／月曜日（祝日の場合は開館）、臨時休館期間、年末年始
※時期別展開催時のみ第1月曜日開館
入館料／コレクション展…一般300円、学生200円、70歳以上・18歳以下無料
特別展・別室に定めた料金
TEL／083・922・7788



鋳銭司郷土館 MAP P19
大村益次郎の遺品や遺墨を中心に、周防鋳銭司跡から出土した遺物も展示。
開館時間／9時〜17時（入館16時30分まで）
休館日／月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、年末年始
入館料／一般110円、満70歳以上・満18歳以下無料
TEL／083・986・2268



山口情報芸術センター［YCAM］ P20参照
インスタレーション展、パフォーミングアーツ作品の公演など、最先端の芸術を体感。



クリエイティブスペース赤れんが MAP P5
美術展示、コンサート、演劇など、文化芸術に関する発表・交流の場として広く利用されています。
開館時間／9時〜17時
休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日、12月29日〜1月5日
TEL／083・928・6666

山口県埋蔵文化財センター MAP P3



山口市小郡文化資料館 MAP P19
俳人・種田山頭火や彫刻家・河内山雅祐の作品など、郷土に縁の深い作品や資料を展示。
開館時間／9時〜17時（入館16時30分まで）
休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始
入館料／無料
TEL／083・973・7071



瑠璃光寺資料館 MAP P3
五重塔の骨組みを紹介する15分の1模型、全国の五重塔55基の模型などを展示。
開館時間／9時〜17時
休館日／年中無休
入館料／大人200円、中高生100円、小学生50円
TEL／083・924・9139



山口市歴史民俗資料館 MAP P5
幕末の長州藩・大内氏と大内文化・遺跡出土遺物・昔の米作りと農具に関する資料を展示。
開館時間／9時〜17時（入館16時30分まで）
休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始
入館料／一般110円、70歳以上・18歳以下・障がいがある方及び同行の介護者は無料
TEL／083・924・7001



中原中也記念館 P9参照
詩人・中原中也の作品を通して、中也の詩の世界に触れませんか。
展示室や資料室での作業（土器などの接合・復元作業）を見学できます。
開館時間／8時30分〜17時
休館日／土曜日・日曜日・祝日・年末年始
入館料／無料
TEL／083・923・1060

花のみどころ

桜
- **香山公園・瑠璃光寺**［中部／3月下旬〜4月上旬／約170本］
- **重源の郷**［北部／4月初旬〜下旬／約900本］
- **長沢池**［中部／3月下旬〜4月上旬／約140本］
- **一の坂川**［中部／3月下旬〜4月上旬／約200本］
- **大原湖岸**［北部／3月下旬〜4月上旬／約600本］
- **岡山霊廟塔周辺**［南部／3月下旬〜4月上旬／約125本］
- **古熊神社**［中部／3月下旬〜4月上旬／約150本］
- **木戸山**［中部／3月下旬〜4月上旬／約300本］
- **栄山公園**［中部／3月下旬〜4月上旬／約150本］
- **草山公園**［南部／3月下旬〜4月上旬／約1,000本］
- **木戸公園**［中部／3月下旬〜4月上旬／約300本］
- **亀山公園**［中部／3月下旬〜4月上旬／約30本］
- **徳佐八幡宮しだれ桜**　※国指定名勝　徳佐（サクラ）［北部／3月下旬〜4月上旬／約300本］



つつじ
- **亀山公園**［中部／4月下旬〜5月上旬／約1,000株］
- **県庁濠端**［中部／5月中旬／約1,000株］
- **一の坂川**［中部／4月下旬〜5月中旬／約1,000株］

ぼたん
- **龍蔵寺**［中部／4月下旬〜5月初旬／約1,000株］

藤
- **仁保ー貫野地区**［中部／4月下旬〜5月上旬］



山芍薬
- **十種ヶ峰**［北部／4月下旬〜5月初旬］

菜の花
- **八十八カ所街道沿**［南部／3月下旬〜4月中旬］

菖蒲
- **総畑のノハナショウブ自生地**［中部／6月上旬〜中旬］

紫陽花
- **重源の郷**［北部／6月下旬／約5,000株］

はす
- **源久寺**［中部／7月中旬〜8月上旬］

ゆうすげ
- **船平山**［北部／7月中旬〜下旬／約1ha］



紅葉
- **龍蔵寺**［中部／11月下旬］
- **木戸公園**［中部／10月下旬〜11月下旬］
- **龍福寺**［中部／11月上旬〜下旬］
- **両足寺**［中部／11月中旬〜下旬］
- **妙見社の大イチョウ**［北部／10月中旬〜11月中旬］
- **滑峡**［北部／10月中旬〜11月中旬］
- **長門峡**［北部／10月下旬〜11月中旬］

梅
- **其中庵**［中部／2月初旬〜3月初旬］
- **香山公園**［中部／2月初旬〜3月初旬／約40本］
- **赤崎神社**［南部／2月初旬〜3月初旬］
- **重源の郷**［北部／2月初旬〜3月初旬］



椿
- **両足寺**［中部／3月／2本］



蛍のみどころ

- **一の坂川**［中部／5月下旬〜6月上旬］
- **宮野ホタルの里**［中部／5月下旬〜6月中旬］
- **吉敷川**［中部／5月下旬〜6月上旬］
- **四十八瀬川**［中部／5月下旬〜6月上旬］
- **佐波川関水**［北部／6月中旬］
- **徳地串ー帯**［北部／6月中旬］
- **重源の郷**［北部／6月中旬］



レンタサイクル

■福武貸自転車（山口駅前）
2時間まで／300円（延長1時間ごと100円）、1日／700円
営業時間／8時〜19時
お問い合わせ／083・922・0915

■山口市菜香亭 ★
半日（4時間未満）／300円、1日（4時間以上）／500円（電動自転車、各100円増）
営業時間／9時〜17時（火曜日休館）
お問い合わせ／083・934・3312

■山口ふるさと伝承総合センター ★
半日（4時間未満）／300円、1日（4時間以上）／500円（電動自転車、各100円増）
営業時間／9時〜17時
お問い合わせ／083・928・3333

■クリエイティブ・スペース赤れんが ★
半日（4時間未満）／300円、1日（4時間以上）／500円
営業時間／9時〜17時（月曜日休館）
お問い合わせ／083・928・6666

■湯田温泉観光案内所
4時間以内／普通自転車600円（1時間超過ごとにプラス100円）、電動自転車1000円（1時間超過ごとにプラス200円）
営業時間／9時〜17時
お問い合わせ／083・901・0150

■新山口駅サイクルステーション
窓口／駅レンタカー新山口営業所、1日／2300円〜
営業時間／8時〜18時（年中無休）
お問い合わせ／083・972・6371

★印…3施設間で乗り捨てが可能

山口ゆめ回廊 ぶらり周遊MAP

「山口ゆめ回廊」とは？

山口県央連携都市圏域。
山口市・宇部市・萩市・防府市・美祢市・山陽小野田市・島根県津和野町とで構成し、交流人口等の創出に向けた連携の強化に取り組むものです。





01 太皷谷稲成神社【津和野町】

安永2年（1773年）に、京都の伏見稲荷大社から奉祀したのが始めです。日本五大稲荷の一つとされていますが、唯一「いなり」を「稲成」と表記します。「稲成」には、勤請した津和野藩主亀井矩貞公の思いにより、「お願い事がよく叶う、つまり願望成就・大願成就などの意味が込められています。



02 萩城下町【萩市】

毛利氏の城下町として260年間にわたって栄えた萩市。武家屋敷や土塀など、城下町の風情が今でも残っています。また、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」に登録された5資産も必見です。

03 秋吉台・秋芳洞【美祢市】

3億年の歴史を持つ日本最大のカルスト台地「秋吉台」地下には、地下水が石灰岩を溶かしてできた東洋屈指の大鍾乳洞「秋芳洞」が広がります。





04 防府天満宮【防府市】

延喜4年（904年）創建。学問の神様・菅原道真を祀った日本で最初の天満宮。京都の北野天満宮、福岡の太宰府天満宮とともに日本三天神と言われています。



05 ときわ公園【宇部市】

ときわ公園は面積約100haによく常盤湖を中心に広がる緑と花と彫刻に彩られた総合公園です。彫刻作品を常設展示している園内では、豊かな自然とアートが調和した美しい景観を堪能できます。

06 本山岬公園【山陽小野田市】

くぐり岩などの奇岩がそびえる公園。干潮前後2時間以内はくぐり岩の近くに行くこともできます。



07 錦帯橋【岩国市】

08 元乃隅神社【長門市】



09 角島大橋【下関市】



10 唐戸市場【下関市】



ぶらり周遊ルート

山口県の人気スポットから湯田温泉までのルートを4つご紹介します。

※所要時間は目安です。

ぶらり周遊ルート 一

10 唐戸市場【下関市】
市場で新鮮なお寿司が食べられる！

車で 約1時間10分

09 角島大橋【下関市】
映画やドラマ、CMの撮影で使われる人気スポット！

車で 約40分

08 元乃隅神社【長門市】
連なる鳥居と海の絶景スポット！

車で 約1時間20分

湯田温泉【山口市】

ぶらり周遊ルート 二

07 錦帯橋【岩国市】
5連のアーチが特徴！日本三名橋の一つ。

車で 約1時間10分

04 防府天満宮【防府市】
日本三天神の一つ。菅原道真公を祀っています。

車で 約40分

湯田温泉【山口市】

ぶらり周遊ルート 三

湯田温泉【山口市】

SLで 約2時間＋徒歩15分

01 太皷谷稲成神社【津和野町】
津和野町と山口市の間はSLもオススメ。

車で 約1時間10分

02 萩城下町【萩市】
世界遺産も必見！

車で 約1時間

湯田温泉【山口市】

ぶらり周遊ルート 四

湯田温泉【山口市】

車で 約35分

03 秋吉台・秋芳洞【美祢市】
日本ジオパーク！

車で 約50分

05 ときわ公園【宇部市】
豊かな自然とアートを堪能。

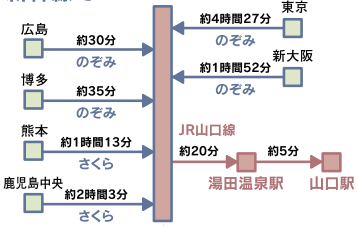
車で 約30分

06 本山岬公園【山陽小野田市】
くぐり岩に近付くには潮見表をチェック。

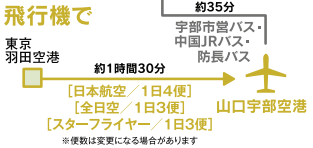


交通アクセス

新幹線で

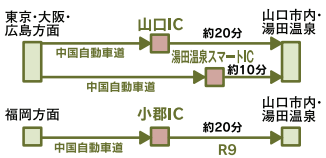


飛行機で

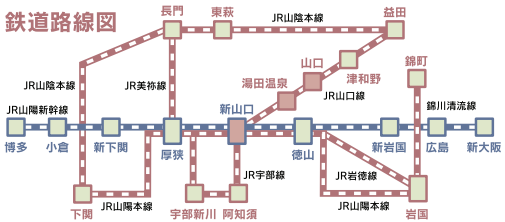


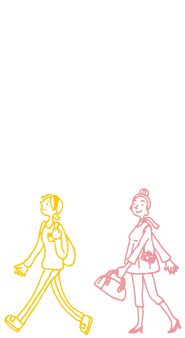
※便数は変更になる場合があります

車で



鉄道路線図





ぶらり山口

Bu-Ra-Ri

Yamaguchi city Guide Book



観光案内所

【新山口駅観光交流センター】
所在地／山口市小郡令和1丁目2-6
営業時間／9:00～18:00
休業日／年中無休
TEL／083-902-0037

【新山口駅南口観光案内所】
所在地／山口市小郡令和1丁目2-1
（新山口駅新幹線口2階）
営業時間／9:00～18:00
休業日／年中無休
TEL／083-972-6373

【山口観光案内所】
所在地／山口市惣太夫町2-1
（山口駅1階）
営業時間／9:00～18:00
休業日／年中無休
TEL･FAX／083-933-0090

【湯田温泉観光案内所】
所在地／山口市湯田温泉2丁目1-23
営業時間／9:00～18:00
休業日／年中無休
TEL／083-901-0150
FAX／083-901-0151

【香山公園前観光案内所】
所在地／山口市香山町6-11
営業時間／9:00～18:00
休業日／ 年中無休
TEL／083-934-6630
FAX／083-934-6629

湯田温泉観光回遊拠点施設
【狐の足あと】
所在地／山口市湯田温泉2-1-3
営業時間／8:00～22:00
休業日／ 年中無休
TEL／083-921-8818



観光のお問い合わせ

【山口観光コンベンション協会】
所在地／山口市惣太夫町2-1（山口駅2階）
TEL／083-933-0088
FAX／083-933-0089
Eメール／info@yamaguchi-city.jp

【山口観光コンベンション協会 秋穂支部】
所在地／山口市秋穂東6570番地
TEL／083-984-3741

【山口観光コンベンション協会 徳地支部】
所在地／山口市徳地八坂652
TEL／080-2916-8878
Eメール／tokudi2005@yahoo.co.jp
http://www.tokudi-kankou.jp/

【NPOあとう】
所在地／山口市阿東徳佐中3628
TEL／083-956-2526
FAX／083-956-2527
Eメール／npo-ato@c-able.ne.jp
http://www.ato-kankou.org/

【湯田温泉旅館協同組合】
所在地／山口市湯田温泉6-6-53
TEL／083-920-3000
Eメール／yudaspa@c-able.ne.jp
http://www.yudaonsen.com/

【山口市観光交流課】
所在地／山口市亀山町2-1
TEL／083-934-2810
FAX／083-934-2649
Eメール／kanko@city.yamaguchi.lg.jp
https://www.city.yamaguchi.lg.jp/

山口市観光情報サイト　西の京やまぐち　検索
http://yamaguchi-city.jp/

湯田温泉のことなら　湯田温泉　狐の足あと　検索
http://www.yuda-onsen.jp/

「ぶらり山口」 発行／山口市観光交流課　2022年3月